

令和5年度第2回京丹後市いじめ防止対策等専門委員会 会議録

1 開催日時：令和6年2月20日（火）19時00分～20時40分

2 開催場所：オンラインでの開催

3 出席者：京丹後市いじめ防止対策等専門委員会

竹村 洋子（医療法人竹村診療所・臨床心理士）

竺沙 知章（京都教育大学大学院連合教職実践研究科・副学長）

藤原 大輔（医療法人ふじわらクリニック理事長）

松田 美枝（京都文教大学地域協働研究教育センター・センター長）

神子 貴士（弘希法律事務所・弁護士）

事務局：松本 明彦（京丹後市教育委員会 教育長）

引野 雅文（京丹後市教育委員会事務局 教育次長）

川村 義輝（京丹後市教育委員会事務局 学校教育課 課長）

上田 真吾（京丹後市教育委員会事務局 学校教育課 主幹兼指導主事）

片柳 弘司（京丹後市教育委員会事務局 学校教育課 主幹）

4 議 事

（1）京丹後市のいじめの現状

（2）いじめに係る事象報告

（3）意見交流

5 公開又は非公開の別 公開

6 傍聴人の人数 0人

《議事経緯》

学校教育課長： 定刻となりましたので、ただ今から「令和5年度第2回京丹後市いじめ防止対策等専門委員会」を始めさせていただきます。

私は、教育委員会事務局学校教育課長の川村と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、委員会の開会にあたりまして、松本教育長がご挨拶を申し上げます。

教 育 長：

<教育長挨拶>

学校教育課長： 続きまして、笠沙委員長から開会のご挨拶をよろしくお願いいたします。

<笠沙委員長挨拶>

学校教育課長： それでは本専門委員会の開催についてご報告申し上げます。京丹後市いじめ防止対策等専門委員会及び京丹後市いじめ問題調査委員会に関する条例第6条第2項の規定によりまして、過半数の委員の皆様のご出席をいただいておりますので、ここでご報告させていただきます。

学校教育課長： 次に配布資料の確認をいたします。

<配付資料の確認>

学校教育課長： それではここから、笠沙委員長に議長として議事を進行していただきます。よろしく申し上げます。

笠沙委員長： それでは議事(1)につきまして事務局から報告をいただき、そこで質疑をとりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局説明

議事（1）京丹後市のいじめの現状

竺沙委員長： ただいまご説明いただいた内容、資料につきまして、何かご質問やご意見がありましたら、ご発言をいただければと思いますがいかがでしょうか。

松田委員： 小学校から中学校に上がると、いじめの認知件数が極端に減るというあたりで、減るのは良いことだと思うのですが、そのご説明は何かいただけますでしょうか。

事務局： 年齢が上がると認知件数が下がるという傾向がありまして、今回の調査につきましては小学校6年生が3.1%に対して、中学校1年生は3.3%ですので、あまり数字は変わらないのですが、成長していくにつれて、嫌だと思ふことに折り合いがつけられていくという、順調な成長というのが一つは考えられますし、仲間関係も構築されて大人になっていくということが、プラスの要素としては挙げられると思います。

ただ大人になるにつれて、こういうアンケート調査に書かない、もしくは書けないといったことが増えていくというところも事実としてあると思います。そういった要素もありますので、このアンケートがすべてではなくて、常日頃から、学校で教職員がそういう子どもたちの動きとか、人間関係をしっかりと感知する状況を作っていくようにと話をしております。

竺沙委員長： ありがとうございます。松田委員よろしいでしょうか。他にご意見はございませんか。

竹村委員： いつ誰がどのように対応したかといういじめの指導に関して、記録が残されていないというのは、どんな場合にそんなことが起こるのでしょうか。

事務局： 今年度入らせてもらったケースでは、最初はいじめ事象として対応していない生徒間トラブルや生徒間暴力の中で扱ったケースで、後々、保護者の訴えによりいじめとして対応を行ったケースの実例で言いますと、組織的に対応の記録を取っているのではなくて、その都度、担任が対応をして、ノートに記録をして対応し、謝罪に至ったところで終わっているようなケースがあります。あとから、この時の事実としてはどうだったのかを確認した際、学

校内での共有を口頭で行われていても、それが文書として残されていないというケースがありましたので、校園長会などではとにかく、問題事象、いじめ事象が起きたときには、確実に、誰がどう対応してどうなったかという事実を、しっかり記録として残していくことをお願いしております。

竹村委員： ありがとうございます。こういう時に一人で対応するっていうのはなかなか大変なことだろうと思うのですが、そういう時には必ず一人以上の人で対応するとかいったことは何かあるのでしょうか。

事務局： もちろん全て組織的に対応するようには伝えているのですが、とくに小学校では担任が抱えてしまっているというケースは実際あるように感じています。

笠沙委員長： 竹村委員よろしいでしょうか。ありがとうございました。

今のご質問いただいた件で、それは、アンケートではなく訴えによって「いじめだ」と認識された事例になるのでしょうか。

事務局： はい、アンケートとは別の件になります。

笠沙委員長： そうなのがあったというのは、1件だけですか。

事務局： 正確に何件とはお答えさせていただく資料を持ち合わせておりませんが、現状のところ3件は教育委員会が学校に入らせていただいている状況があります。

笠沙委員長： それは小学校ですか、中学校ですか。

事務局： 小学校が2件と、中学校は1件です。この後説明させていただく事例が含まれております。

笠沙委員長： そういう報告をいただいたのはこれまでで初めてのような気がするのですが、けれども。

事務局： はい。今までにもなかったわけではないのですが、今年については、保護者と学校とで話ができないケースが、小学校と中学校で発生しておりまして、去年はなかったですが、過去にはあったと認識しております。

笠沙委員長： 今年は少し深刻化したということですかね。小中学校は注意していただく必要があるということですね。ありがとうございました。他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

いじめの調査の結果については、例年、毎回ご報告いただいている内容で

すので、とくに今年の特徴というのが、今のご報告、ご説明で伝わってきた
と思います。それとも係わり、この後、いじめに係る事象についてご説明い
ただき、ご意見をいただくことになるのですが、そちらに進ませていただい
てよろしいでしょうか。

では少しご説明が長くなるかと思いますが、報告記録があまりなかつ
たということでトラブルになってしまった事例の一つ、ということになるう
かと思いますが、事象について見ていただくことになります。

この報告に関しましては、非公開という形で進めさせていただいてよろし
いでしょうか。

事務局説明

議事 (2) いじめに係る事象報告 (非公開)

竺沙委員長： ここから会議を公開とします。今後のスケジュールにつきまして、事務局
からご説明をお願いいたします。

事務局説明

今後のスケジュールについて

竺沙委員長： 委員の皆様のご協力により、議事をスムーズに進めることができました。
ありがとうございました。それでは閉会に向けて事務局にお返しします。

学校教育課長： 竺沙先生ありがとうございました。委員の皆様、長時間にわたりご審議い
ただきありがとうございました。

本日ご審議いただいた内容や貴重なご意見を踏まえまして、更なる学校の
支援等を行ってまいります。ありがとうございました。

会議の閉会にあたりまして竹村副委員長からご挨拶をいただきたいと思
います。

<副委員長挨拶>

学校教育課長： ありがとうございます。これを持ちまして、第2回京丹後市いじめ防止対策等専門委員会を閉会いたします。本日は遅い時間までどうもありがとうございました。